

## 都産技研の新しい産業支援拠点

平成21年度は、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターにとって、法人化4年目にあたり、中期目標達成に向けた取り組みを加速するとともに、経済不況への対応を強化した結果、厳しい経営環境の中、多くの中小企業の皆様にご利用いただきました。特に、不況対策として実施した緊急技術支援、オーダーメイド開発支援等の事業につきましても多くのご利用をいただきました。あらためまして御礼申し上げます。

さて、都産技研は中小企業に対する技術支援を一層強化すべく拠点の再整備を進めています。平成22年2月には、多摩地区の新たな拠点として多摩テクノプラザを東京都昭島市に開設しました。この拠点は、発展著しい多摩地区の中小企業支援強化を狙いとして、様々な設備を充実させており、以下にその一端をご紹介します。

### (1) テクノプラザ本館

ものづくりに対する総合的な技術支援拠点として、多くの試験機、測定機、分析器を揃えています。振動試験機、冷熱衝撃試験機、塩水噴霧試験機、蛍光X線分析装置など約40台の装置があります。特に、高速造形機は3次元CADで作成したデータから金型を用いずに試作品を作成できるため、新製品開発の要の機器として、よく使われています。

### (2) EMC サイト

本サイトでは、3つの電波暗室と2つのシールドルームを設置しており、電子機器のノイズ測定や妨害電波による誤作動防止の検証などができます。特に、大型の10メートル法電波暗室では、ニーズの高い車載機器の測定を実車を持ち込んだ形で行うことができます。

### (3) 繊維サイト

本サイトでは、繊維製品ならびに繊維技術応用製品の開発支援をはじめ、依頼試験による製品の品質評価、クレーム解析による製品トラブル解決などの支援を行います。さらに、繊維産業やファッション産業発展のため、ものづくり機器を用いた高度産業人材育成事業にも注力しています。

さて、都産技研は、平成23年度には臨海部に新たな本部拠点の開設も予定しております。現在の北区西が丘の本部機能と世田谷区駒沢支所の機能を統合した新本部であり、都内中小企業の目指す高付加価値ものづくりを支える拠点としてオープン致します。今後とも、都産技研の積極的な活用をお願いします。

平成22年6月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
理事長 片岡 正俊